

JA 全農ちば 営農情報集

2025 年
8 月

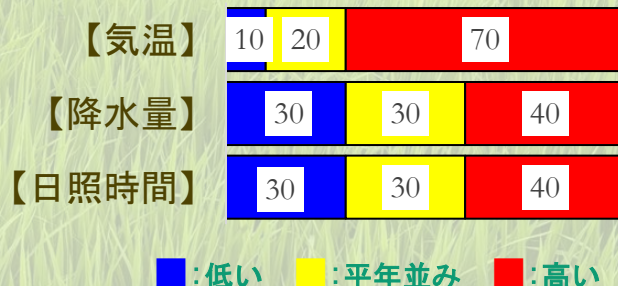


今月の情報

1. 水稲 令和 7 年産米最後の仕上げ
2. 園芸野菜 病害虫防除情報
3. 安全な農作物生産の取り組みについて

今月の気象（気象庁 7 / 3 1 発表 1 か月予報より）

今年の 8 月は気温の高い状態が続きます。特に、上旬は気温がかなり高くなる見込みです。
高温による障害等の発生が懸念されますので、適切な灌水や遮光、遮熱資材などを用いて対策をしましょう。



注意とお願い

※ 本資料は、本資料の複製・転載を禁じます。JA 全農ちば 営農支援課
農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

令和7年産米 最後の仕上げ

～適期収穫と乾燥・調製について～

J A全農ちば 営農支援課

1. はじめに

関東甲信エリアの梅雨明けは、7月18日（前年7月18日）・（平年より1日早い）となりました。7月の気温は非常に高く推移し、4月20日植えの「ふさおとめ」「ふさこがね」「コシヒカリ」は平年より2～4日程度早い出穂期となり、5月1日植えの「コシヒカリ」は平年より5日早い出穂期となっています。

成熟期は4月20日植えの「ふさおとめ」が8月7日、「ふさこがね」は8月12日、「コシヒカリ」は8月20日、「粒すけ」は8月19日からと非常に早く予測されます。

成熟期の判断について、いつもより葉色が薄い場合や水が不足している圃場は成熟期が早まる可能性があるため、注意をしましょう。

表1 品種・植付時期別の成熟期の予測

品種	植付時期	成熟期予測			
		県北 (香取市)	九十九里 (茂原市)	内湾 (千葉市)	県南 (館山市)
ふさおとめ	4月20日	8月12日	8月10日	8月7日	8月7日
ふさこがね	4月20日	8月16日	8月15日	8月12日	8月12日
コシヒカリ	4月20日	8月26日	8月24日	8月20日	8月20日
	5月1日	8月31日	8月29日	8月27日	8月27日
	5月10日	9月3日	9月3日	8月31日	8月31日
粒すけ	4月20日	8月23日	8月21日	8月19日	8月19日

※水稻の生育状況と当面の対策 第5報（千葉県農林水産部 令和7年7月25日発表）より

2. 刈取り時期の判断について

水稻の刈取り適期の判定は、出穂後の日数によるものと帯緑色歩合によるものがあります。出穂後の刈取りまでの日数は各品種で違うので注意しましょう。また、天候不順や高温など天候によっては刈取りまでの日数に大きく影響を与えるので、登熟ムラの可能性が高くなります。

出穂後日数を大まかな目安として、登熟をしっかりと確認（**「帯緑色歩合15%※」**）し収穫しましょう。

表2 出穂から刈取りまでの日数の目安

品種	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	粒すけ
出穂後日数	33日	37日	38日	38日

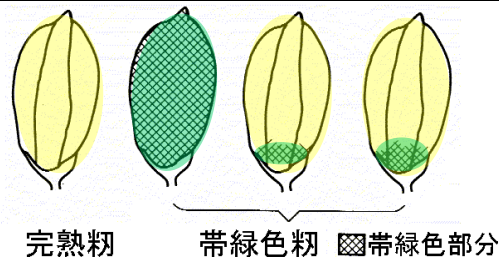


図1 帯緑色籾の見分け方

※帯緑色籾歩合とは籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のことで、帯緑色籾歩合15%の時に収穫を行います。

※出穂期後が高温だと上記日数より3～5日程度早まります。

別紙の令和7年水稻高温対策第二報の資料もご参考ください。

3. 乾燥・調製について

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥の仕上げ水分は、14.5～15.0%(※)とし、特に過乾燥は避けましょう。

また乾燥直後の穀温が高い状態で籾摺りをおこなうと肌ずれ米等が生じやすいので、籾摺りは充分放冷してから行い、籾摺り機のロール幅は品種に応じて調製しましょう。

粒が小さい米が混ざると玄米の粗タンパク含有率が上がり、食味低下の要因となるため、選別は1.8mm以上の網目を使用し、粒張り、食味のよい「おいしいお米」を出荷しましょう。

※JAにより受ける米の水分値が別に定まっていますので、事前に確認しましょう。

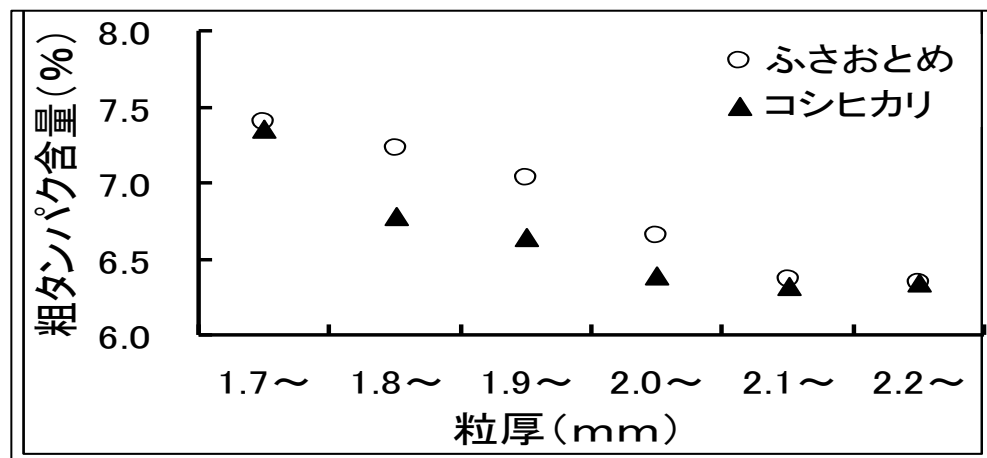


図2 粒厚と粗タンパク含有の関係

4. 生産履歴記帳について

生産履歴簿は皆さんが出荷するお米が、どんな品種で、どんな管理をして、どんな資材を使っているかを確認し、適切な管理で栽培したことを証明するためにあります。

出荷にあたっては記入漏れ・記入間違いが無いかももう一度生産履歴簿を確認し、JAへ提出しましょう。

提出前のチェック項目！

- ☐①JA名・氏名の記入漏れ、押印漏れはありませんか？
 - ☐②作付圃場の地番・面積、合計面積に記入漏れはありませんか？
 - ☐③出穂期を確認して記入しましたか？
 - ☐④収穫予定日を記入しましたか？
 - ☐⑤選別網のサイズを確認しましたか？
 - ☐⑥肥料・農薬の資材名はきちんと記入しましたか？
- ※使用量は10a当たりで記入！
- ☐⑦JA担当者に中間確認と最終確認をしてもらいましたか？

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援課

1. はじめに

気象庁によると8月は全国的に気温が平年より高い予報となっています。そのため、害虫の発生には特に注意をしましょう。また、一般的に高温時や作物が弱っている時は薬害のリスクが高まるため、薬剤防除は早朝か夕方の涼しい時間に行いましょう。

2. ネギ ***本年の多発生に注意！**

(1)シロイチモジヨトウ

7月16日に県から発表された病害発生予報4号によれば、秋冬ネギではシロイチモジヨトウの発生が「やや多」となっています。葉裏などに卵を卵塊で産みつけ、ふ化した幼虫は集団で群生して食害をします。以下の剤は特に効果が高いですが、浸透移行性がないため薬剤がしっかりとかかるような散布を心がけましょう。また、必ず同じ系統の薬剤を連続で散布しないように心がけましょう。



【シロイチモジヨトウ 幼虫】



【シロイチモジヨトウ成虫】

○ネギ シロイチモジヨトウ防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナSC	2500～5000 倍	収穫前日	2 回以内
6	アニキ乳剤	1000～2000 倍	収穫 3 日前	3 回以内
30	グレーシア乳剤	2000～3000 倍	収穫 7 日前	2 回以内
	ブロフレアSC	2000～4000 倍	収穫前日	3 回以内
UN	プレオフロアブル	1000 倍	収穫 3 日前	4 回以内

(2)白絹病



【白絹病 病状】

白絹病は高温（30℃程度）と多湿により発生しやすい病害です。地際～地下部の軟白部に白いカビや菌核（白い粒）が発生します。発生後の対策は困難ですので、土寄せを行う時にあわせて予防的防除を実施しましょう。

○ネギ 白絹病 防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
7	モンカット粒剤	4～6kg/10a	土寄せ時・ 収穫 30 日前	4 回以内	予防
	モンカットフロアブル 40	2000 倍		2 回以内	予防
	アフエットフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防
29	フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時・収穫 21 日前	2 回以内	予防
14	リゾレックス粉剤	20～30kg/10a	土寄せ前・収穫 14 日前	3 回以内	予防
11+4	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	土寄せ時・収穫 45 日前	1 回	予防
11	メジャーフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療

(3)軟腐病



【軟腐病 病状】

軟腐病も白絹病と同様に高温（30～35℃）で発生しやすい病害です。地上部の生育不良やしおれから始まり、株元や軟白部が軟化腐敗し、腐敗臭が発生することが特徴です。細菌病のため効果的な薬剤に限られます（下表）。土壌伝染する病害ですので、株元にもかかるよう散布しましょう。

○ネギ 軟腐病 防除薬剤

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数 ※	備考
31	スターナ水和剤	2000 倍	収穫 7 日前	3 回以内※	予防・治療
31+M1	ナレート水和剤（スターナ＋有機銅）	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内※	予防・治療
31+24	カセット水和剤（スターナ＋カスミン）	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内※	予防・治療
P2	オリゼメート粒剤	6kg/10a	土寄せ時・収穫 30 日前	2 回以内	予防

※スターナ・ナレート・カセット は合わせて3回以内（共通成分：オキシリニック酸）

3. ニンジン 一年生雑草防除

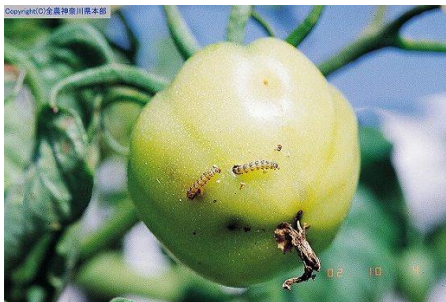
土壌に処理する除草剤は成分が水により土壌表面に広がることで、出芽してくる雑草を枯らします。土壌が乾燥していると成分が広がらず効果が発揮されないなので、適度に土壌水分がある時に使用しましょう。乳剤を散布する場合は水量 100ℓ/10a を基本とし、土壌の乾燥状態に合わせ、登録の範囲で調整しましょう。

○ニンジン 除草剤

対象雑草	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	散布量
一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤	200～400ml/10a	播種後出芽前	1回	70～150ℓ
	ゴーゴーサン細粒剤 F	4～5kg/10a	播種後出芽前		－
	クレマート乳剤	200～400ml/10a	播種後発芽前	1回	100～150ℓ
	クレマートU粒剤	4～6kg/10a	播種後発芽前		－
	ロロックス	100～200g/10a	播種直後	1回	70～150ℓ

4. トマト

(1) オオタバコガ ＊本年の多発生に注意！



【オオタバコガ 幼虫】



【オオタバコガ 成虫】

7月16日の病害発生予報4号によれば、オオタバコガの発生が「やや多」となっています。オオタバコガはヨトウムシと異なり、一卵ずつ点々と産卵するため、初期被害も点々としています。中齢幼虫以降になると結球内部に潜り込むため、被害は極めて大きくなります。レタス、アブラナ科、ウリ科、ナス科、その他多くの野菜、花卉類を食害するため被害が大きくなる前に早めの防除を実施しましょう。

○トマト オオタバコガ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナ SC	2500～5000 倍	収穫前日	2回以内
6	アファーム乳剤	2000 倍	収穫前日	5回以内
28	ベネビア OD	2000～4000 倍	収穫前日	3回以内
30	グレースシア乳剤	2000 倍	収穫前日	2回以内

(2) トマトキバガ ***被害の拡大に注意！**



【トマトキバガ 食害】



【トマトキバガ 幼虫】



【トマトキバガ 成虫】

令和7年7月1日に県内のミニトマト栽培施設において、本虫と疑われる幼虫の寄生が県内で初めて確認されました。県内におけるトマトキバガの発生については令和5年9月28日にフェロモントラップへの誘殺が初めて確認され、令和5年10月6日付け令和5年度病害虫発生予察特殊報第4号を発表されていきました。その後も誘殺が確認されていましたが、今回、県内の農作物での被害が初めて確認されました。被害が今後拡大する恐れもありますので、発生を拡大させないためにもトマトキバガに登録のある以下の薬剤を散布しましょう。

○トマト トマトキバガ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
5	ディアナ SC	2500～5000 倍	収穫前日	2 回以内
6	アファーム乳剤	2000 倍	収穫前日	5 回以内
28	ベネビア OD	2000 倍	収穫前日	3 回以内
30	グレースシア乳剤	2000 倍	収穫前日	2 回以内

5. ダイコン（キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ）

いずれの害虫も子葉展開時から発生し始めますので、早めの防除を実施しましょう。

(1) キスジノミハムシ

早播き（8月中旬～下旬）では被害が多く見られます。

成虫は体長数ミリで、食害痕として子葉に小さい穴が残ります。

根部の被害は土壌中に潜り込んだ幼虫が原因です。



(1)

(2) ハイマダラノメイガ（シンクイムシ）

成虫は体長1～2cmくらいの茶褐色の蛾で、葉裏に産卵

します。幼虫は生長点を食害するため欠株の原因となります。

本葉1～2枚頃までに防除を行いましょう。



(2)

○ダイコン キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ 防除薬剤

対象害虫	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
キスジノミハムシ	4A	スタークル粒剤	9～12kg/10a	播種時	1 回	全面土壌混和
	3A	フォース粒剤	6～9kg/10a	播種時	1 回	全面土壌混和
	28	ベネビア OD	2000 倍	収穫前日	3 回以内	ハイマダラノメイガにも登録
	30	プロフレア SC	2000～4000 倍	収穫前日	3 回以内	
		グレースシア乳剤	2000～3000 倍	収穫7日前	2 回以内	
ハイマダラノメイガ	28	プレバソンフロアブル 5	2000 倍	収穫前日	3 回以内	

安全な農作物生産の取り組みについて

～農作業事故防止～

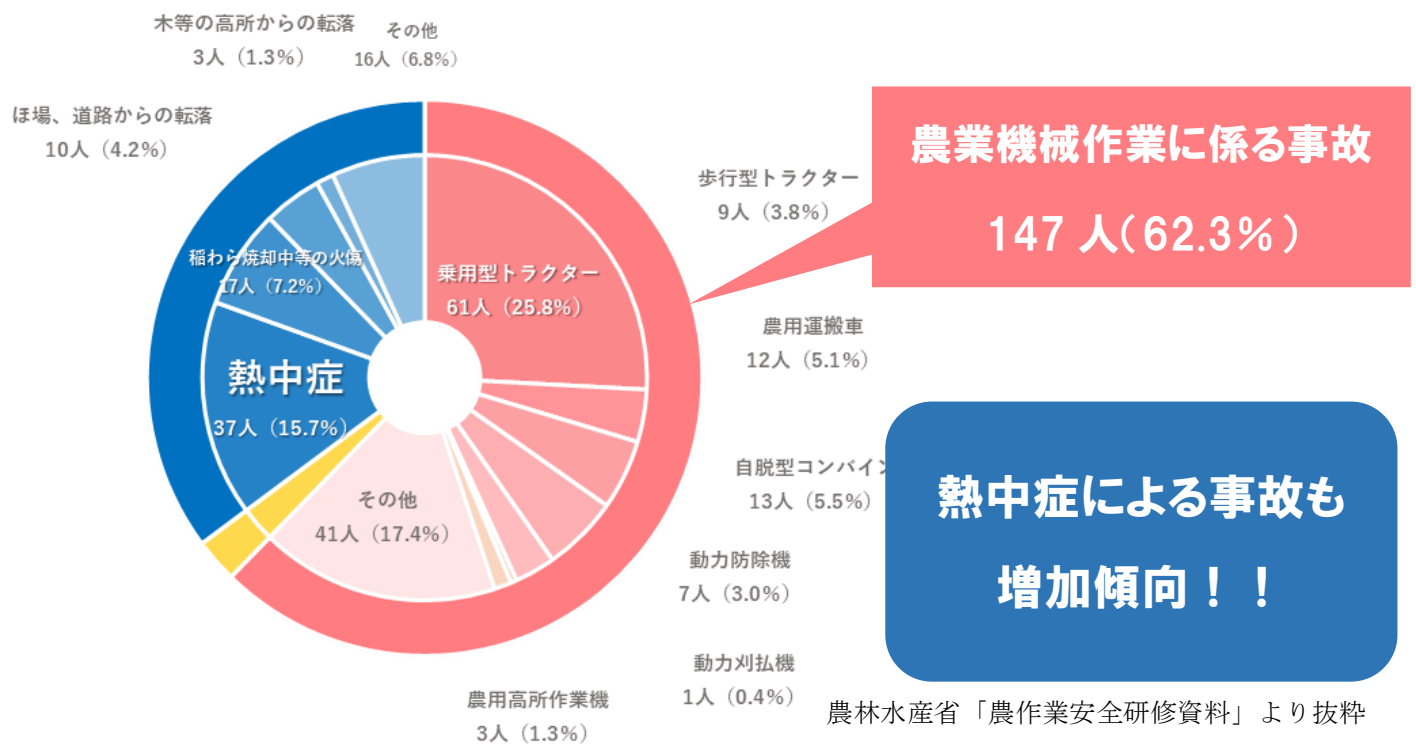
J A全農ちば 営農支援課

1. 農作業事故の現状

農林水産省では、農作業死亡事故の調査を行っています。**令和6年度の農作業事故死亡者数は354人**であり、前年より50件程度増加しています。例年と同様、4～10月の農繁期に多くの事故報告があり、今後もこれらの時期の事故に更に注意していく必要があります。

「いつも大丈夫だから問題ない」「ちょっとだけだから...」が大きな事故を引き起こしかねません。まずは、ワンチェック・ワンアクションで農作業安全を心がけましょう。

【要因別の農作業死亡事故発生状況（令和5年）】



2. 農作業事故の防止

(1) 作業中は**常に注意**しましょう！

作業の終盤や疲れが溜まった際、ふと集中力が切れると事故が起こりやすくなります。特に高所での作業時等は、最後まで気を抜かないようにしましょう。

(2) 作業中のトラブル時は、**必ずエンジンを止めて確認**しましょう！

少しの確認をするときでも、必ずエンジンを止めて行いましょう。

(3) 自身の**体に合った服装**で作業しましょう！

機械に巻き込まれる原因にもなります。袖のボタンなどもしっかり留めましょう。

(4) **2人以上での作業・もしくは携帯電話**を持ち歩きましょう！

事故が起きてしまった際に、すぐに助けを呼べる体制で作業しましょう。

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます J A全農ちば 営農支援課

安全な農作物生産の取り組みについて

～熱中症対策について～

気象庁の発表によると関東甲信地方では7月18日に梅雨明けとなり、今後もしばらく厳しい暑さが続く予想されております。最高気温が35度以上の猛暑日となる場所も相次ぐと思われますので、下記資料を参考にして農作業や栽培管理における高温時の対策を講じましょう。

1. 熱中症に注意

農作業は可能な限り高温の時間帯を避け、マスクを外すなど熱中症対策を講じましょう。

(1). 熱中症対策

ア. こまめに**水分・塩分補給**をしましょう

汗をかくと体内の「塩分」も放出されます。スポーツドリンクのように「塩分」と「糖分」を一緒に摂ると体内への塩分吸収が良くなります。高齢者はのどの渇きや気温の上昇を感じづらく脱水しやすいため、こまめな水分・塩分補給が必要です。



イ. こまめに**休憩**を取りましょう

日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を緩め、手足を露出して体温を下げましょう。

ウ. 2人以上で作業、もしくは携帯電話等で**すぐに助けを呼べる体制**をつくりましょう

熱中症で倒れてしまった場合、処置が遅れると死亡事故に繋がるリスクが高まります。緊急事態にすぐに気づいてもらう環境づくりが大切です。

エ. **暑さ指数**もチェックしましょう

環境省から暑さの厳しさを示す指標が出ています。気温とともに参考にしましょう。

環境省：熱中症予防情報サイト：https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

(2) 応急処置について

ア. 水分補給をしましょう！

経口補水液も有効です。水 1L に対して砂糖 40g、塩 3g で作れます。

イ. 体温を下げましょう！

首筋、わきの下、脚の付け根などを冷やすとより効果的です。

ウ. 安静にして十分な休憩を取りましょう！

エ. 救急搬送をしましょう！

自力で水が飲めない場合や、意識が無い場合には**119番**で救急車を呼びましょう！